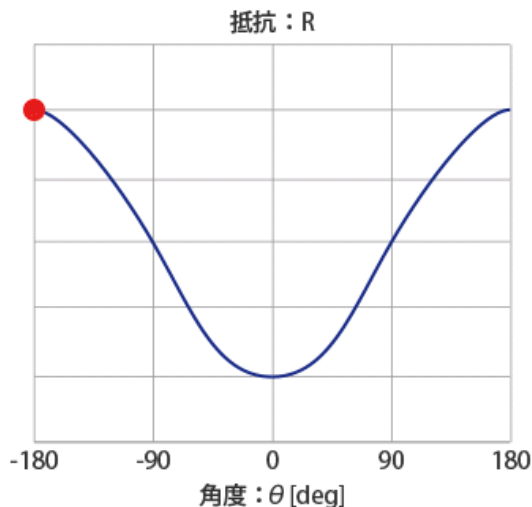
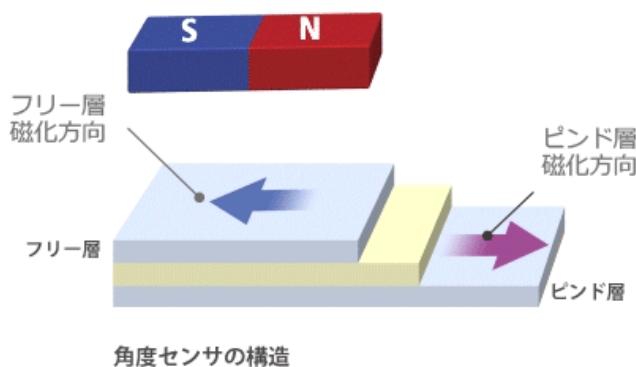


磁気センサ(角度センサ)特集

磁気式角度センサの動作原理

磁界の変化を電気抵抗に変換します。それを電圧に変換してアナログ出力します。

磁界の角度に応じて抵抗値が変化する



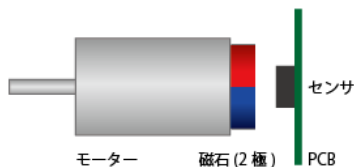
アルプスアルパインの磁気式角度センサの特長

①柔軟なレイアウトが可能

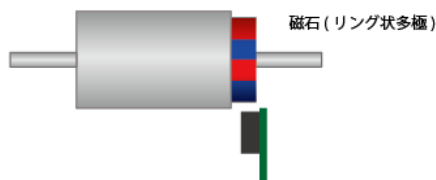
アルプスアルパインの磁気式角度センサはエンコーダタイプ同様、センサのレイアウトの柔軟性も高く設計の自由度も上がります。そのため複数個配置するのも容易で、万一ひとつのセンサが機能しなくなった場合でも他が機能するため、より高い信頼性を確保できます。

センサレイアウトの例

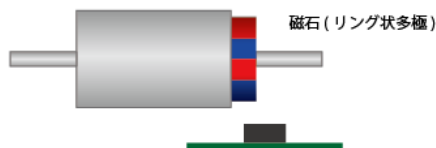
レイアウト 1: 2極磁石の場合



レイアウト 2: 多極磁石の場合



レイアウト 3: 多極磁石の場合

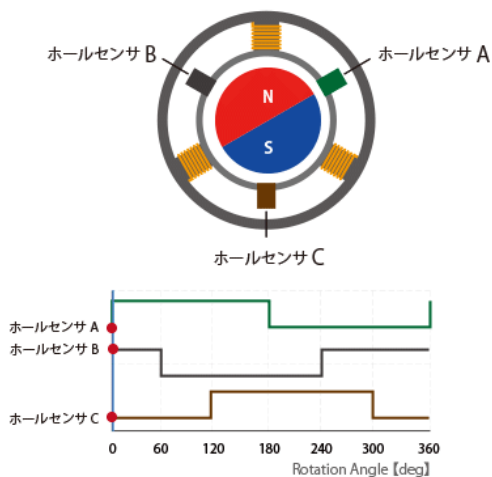


アルプスアルパインの磁気式角度センサの特長

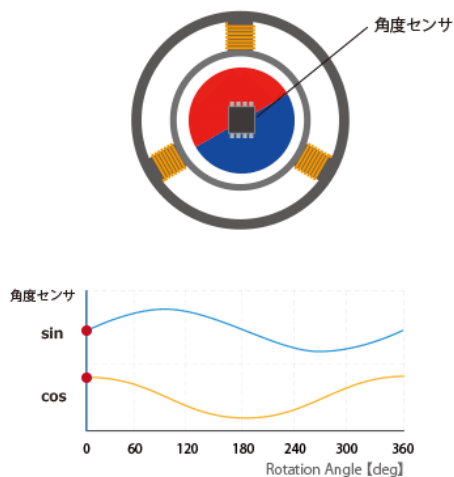
②高効率・高精度制御が可能

角度センサの場合、ホールセンサ(エンコーダ)では通常3つのセンサが必要ですが、当社の磁気センサでは一つのセンサでリニアな回転角度を検知でき、モータの高効率、高精度な制御を実現できます。

ホールセンサ (エンコーダ) による通常制御



角度センサでの制御：高効率・高精度制御



用途例

スマートフォンやPCなどのモバイル機器、白物家電、スマートロック、電動自転車、監視カメラなどの開閉検知や回転検知



ご購入はこちら